



産業廃棄物処理計画書

27年6月15日

大分県知事 広瀬勝貞 殿

提出者 玖珠郡九重町大字菅原 1629-109
 住 所 玖珠郡九重町大字菅原 1629-109
 氏 名 け尾高生・童夢牧場

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	童夢牧場
事業場の所在地	玖珠郡九重町大字菅原 1629-109
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	肉用牛 600頭～630頭
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の死後 ① 自らエサ肥化 ② 収理業者に委託 ②、堆肥として再資源化 動物の死後 ① 化製場へ委託収理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死骸	動物の死体
	排出量	1500 t	3 t
(これまでに実施した取組)			タブレ
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死骸	動物の死体
	排出量	1500 t	3 t
(今後実施する予定の取組)			タブレ

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	タブレ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	タブレ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成25年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	動物のふん便
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1200 t
	(これまでに実施した取組)	堆肥化
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	動物のふん便
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1200 t
	(今後実施する予定の取組)	堆肥化

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成25年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	動物のふん便
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	300 t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	動物のふん便
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	300 t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
タヌ			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
タヌ			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	動物の死体
	全処理委託量	t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・動物の死体は化成場に委託し処理			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死骸	動物の死体
	全処理委託量	t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・動物の死体は化成場に委託し処理します			
※事務処理欄			